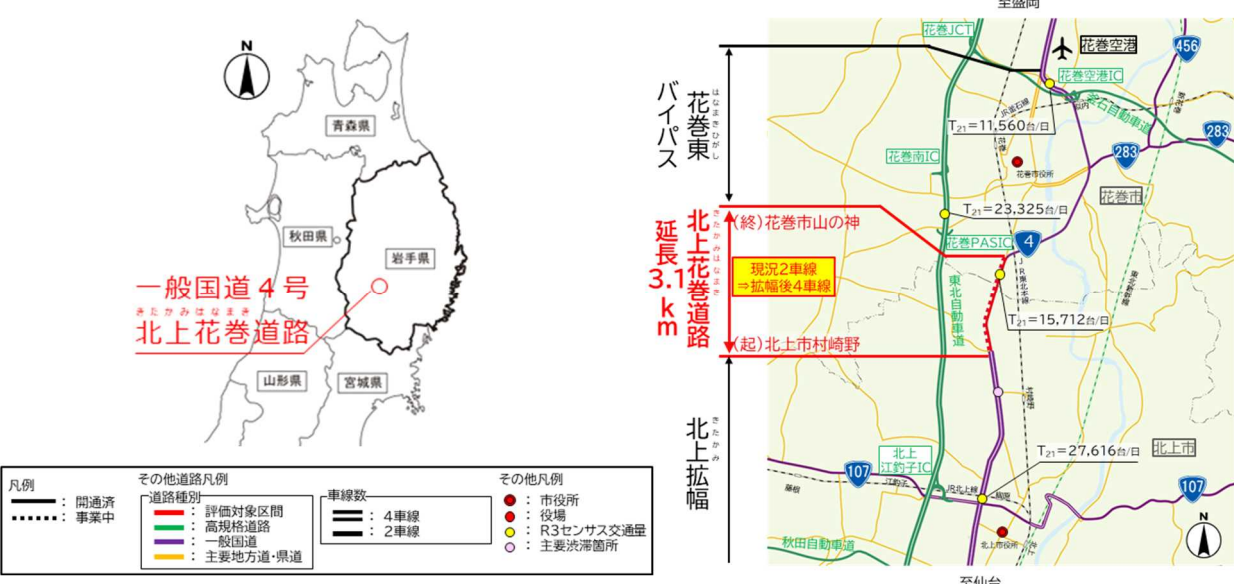


再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担 当 課:道路局 国道・技術課

担当課長名:西川 昌宏

事業名	一般国道4号 きたかみ はなまき 北上花巻道路				事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局			
起終点	自： いわて 岩手県北上市村崎野 至： いわて 岩手県花巻市山の神						延長	3.1 km			
事業概要											
一般国道4号は、東京都中央区を起点に岩手県内を南北に縦断し青森県青森市に至る主要幹線道路である。このうち北上花巻道路は、岩手県北上市村崎野から花巻市山の神に至る延長3.1kmの4車線道路である。											
令和2年度事業化			R1年度都市計画決定 (R1年度変更)			令和3年度用地着手		令和3年度工事着手			
全体事業費		約86億円		事業進捗率 (令和6年3月末時点)		約22%		供用済延長	— km		
計画交通量		28,100 台／日									
費用対効果分析	B/C： (事業全体)		EIRR： (事業全体)	総費用：(残事業)/(事業全体) 62 / 81 億円			総便益：(残事業)/(事業全体) 119 / 119 億円			基準年	
	(参考)	1.5		6.7 %	事業費：51/ 71億円			走行時間短縮便益：111/ 111億円			令和6年
		2.1 [2%]			維持管理費：10/ 10億円			走行経費減少便益：6.2/ 6.2億円			
		2.6 [1%]			更新費：-/ -億円			交通事故減少便益：0.99/0.99億円			
	(残事業)		(残事業)		感度分析	(事業全体)			(残事業)		
	(参考)	1.9		交通量		B/C=1.2～1.7(±10%)		交通量	B/C=1.6～2.2(±10%)		
		2.7 [2%]		事業費		B/C=1.4～1.6(±10%)		事業費	B/C=1.8～2.1(±10%)		
		3.2 [1%]		事業期間		B/C=1.3～1.6(±20%)		事業期間	B/C=1.8～2.0(±20%)		
事業の効果等											
① 円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減 (渋滞損失時間：25.1万人時間/年、渋滞損失削減率：約8割削減) ② 安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設へのアクセス性向上 (北上市村崎野～岩手医科大学附属病院現況47分⇒将来46分) ③ 災害への備え ・岩手県地域防災計画において、国道4号が緊急輸送道路(第1次路線)に指定 他10項目に該当											
関係する地方公共団体等の意見											
○岩手県知事の意見 1 「対応方針(原案)」案に対して異議ありません。 2 一般国道4号北上花巻道路は、地域間の交流・連携や安全・安心な通行空間の確保、産業集積が進む工業団地へのアクセス強化などの効果が期待されることから、早期完成に向け、コスト縮減にも最大限に配慮しながら、事業の進捗を図るようお願いします。 ○以下の団体等から、北上花巻道路の整備促進について要望あり ・国道4号岩手県南地域拡幅整備促進期成同盟会、岩手県商工会議所連合会											
事業評価監視委員会の意見											
・対応方針(原案)の事業継続は妥当である。											
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等											
・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。											
事業の進捗状況、残事業の内容等											
・令和2年度新規事業化、用地進捗率約38%、事業進捗率約22% (令和6年3月末時点)											

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
・事業進捗に係る問題はない。	
施設の構造や工法の変更等	
・材料規格の見直しにより、コスト縮減を図っている。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	
・混雑の緩和、交通事故の減少、物流効率化による地域経済活動支援等のため、早期整備の必要性が高い。	
事業概要図	
	

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([])内は社会的割引率の値)